

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回文化財審議会
開催日時	令和5年9月26日(火) 15時00分～17時00分
開催場所	中央図書館 会議室
出席者	佐々木真理子委員、杜多堯慶委員、小林浩委員、会田明委員、塩野邦夫委員、山本長春委員、和田雅子委員 事務局（土田課長、大野主任、菅沼主事）
欠席者	なし
会議次第	1. 議案事項 (1) 富士見市指定文化財の答申について  2. その他
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	佐々木真理子委員
会議内容	
1. 開会	
2. 課長挨拶	
3. 議長挨拶	
4. 議事	
(1) 議案事項	
① 富士見市指定文化財の答申について	
事務局：前回の会議で教育委員会から市指定文化財の諮問を受けた「氷川前遺跡出土銅銃」及び「鶴瀬駅開設の石碑」の指定について、文化財審議会として答申を行うにあたって、その内容について検討していただきたい。また併せて、前回の審議で説明した文化財の情報について、事務局から補足事項があるため、ここで説明させていただきたい。	
→ 事務局から資料説明	
以上の通りである。	

委員：「氷川前遺跡出土銅鏡」について、欠けている部分は自然的な破損なのか、それとも意図的に穿孔された痕跡なのか。

事務局：現状では土中での劣化などによる、人為によらない破損と想定しているが、遺物の性質として非常に脆いということもあって、確定的なことを述べるのは現状では難しい。

委員：「氷川前遺跡出土銅鏡」について、古代の集落跡から完形に近い銅鏡が出土した例は県内で初めてという旨の説明があったが、他県、特に関東圏での類例はどうか。

事務局：確認している範囲で長野県内の遺跡で類例がある。関東圏での類例については調査中である。県内で初の例という説明は、先行研究において埼玉県内資料の集成がなされており、主としてそれを参考として述べたものである。

委員：「氷川前遺跡出土銅鏡」について、仏教と関連する資料ではないかという旨の説明があったが、住居跡のカマド近くに置かれた状態で出土しているということもあり、宗教的な用途ではなく、煮炊きなどの生活用品として用いた可能性もあるのではないか。

事務局：本資料の出土状況に関して、宗教的な意味合いを感じさせる要素としては、生活には不都合と思われるほど小さな住居跡から出土していること、「奉」の変形とも考えられる「本」あるいは「本」の字が書かれた墨書土器が伴出していることなどがある。カマド付近に置かれていたことについても、「カマドおくり」と称されるような出土例や、カマド付近に祈りの場を設ける民俗例なども多いことから、火を焚く場所が宗教的な場所であったとしても大きな違和感はない。

委員：ふじみ野市内には、東上鉄道の駅設置を記念する「福岡駅碑」がある。その他の市町にも、鉄道の開設を記念するような石碑の事例があると思われる。鶴瀬駅開設の石碑を指定するうえで、それらが参考になるのではないか。

事務局：東上鉄道沿線における類例は、答申にあたり有意な参考となると思われる。調査を行いたい。

委員：「鶴瀬駅開設の石碑」については、関連資料や碑文の内容から考えると、鶴瀬駅開設と造立は同時ではないことが考えられる。また、現在の位置に至るまでに何度かの移設があったという背景もあることから、答

申を行うにあたって、碑の歴史や変遷を改めて調査してみる必要があるのではないか。

事務局：碑の遍歴について、全てを明らかにすることは困難と思われるが、今回の審議を機に、現在までに確認されている記録や証言を集約し、情報の整理を試みたい。

委員：「鶴瀬駅開設の石碑」のうちの「鶴瀬停車場記念」の碑について、正しい読みがなは「ていしゃば」か「ていしゃじょう」か。

事務局：慣例的には「ていしゃば」としていることが多いように思う。指定文化財とするのであれば、市として正式な読み仮名の見解を持つべきであるため、資料等を確認したい。

委員：「鶴瀬駅開設の石碑」について、現在の碑の周りは土が露出している状況であるが、周辺の整備予定などは決まっているか。

事務局：今後、諮問に応じて碑を市指定文化財とした場合には、併せて説明看板を設置する運びとなる。そのため、碑周辺の整備作業は、看板設置の有無等が生涯学習課で決定するまで待つてほしい旨、鶴瀬駅東口整備事務所をお願いしている。

### (3) その他

- ・事務局からの情報提供。市内で開催予定の文化財関連イベントについて。
- ・山本委員から、以下2点の情報提供。
  - ・10月14日から1月6日に、市立難波田城資料館にて、資料館活動団体作品展が開催される。
  - ・市内において、寺社への放火による被害が生じている。また、市では過去に文化財盗難被害の事例もある。文化財を保存していくにあたって、改めて気を引き締めていきたい。

## 5. 閉会